



瓊浦高等学校 学校通信 第 126 号
令和5年2月28日発行 電話 095-826-1261
FAX 095-820-5245



「努力は必ず報われる」



校長 渡川 正人

2月24日に第74回卒業証書授与式を行い、253名が立派に卒立っていきました。未だ収束しない新型コロナ感染症は、卒業生が中学三年生の終わりごろ流行が始まり、授業への影響はもちろん、学校行事、部活動の大会などが縮小や中止、観客の制限などを余儀なくされる前例のない三年間となりました。しかしながら、第74回生は、何事にも一生懸命に努力し、自分がなすべきことにしっかりと挑戦してくれました。今年度は男子バドミントン部のインターハイ優勝、県高校総体での優勝旗5本獲得をはじめとする部活動、体育祭などの学校行事、大学や就職に向けての進路実現などによく努力した大変立派な学年でした。

三年間を振り返ったとき、卒業生にとってできなかったことが多くありますが、それではこの学年は通常の高校生活を送った時代の生徒に比べて成長の度合いが低かったのか。私はそうは思いません。制約の多い中での我慢、工夫、友人との協力、そういう難しい生活を乗り切ってきたからこそ逆に身についたものが多くあるように思います。だからこそ、この世代はこれまでの世代とは違った力を蓄えているのではないか、今後それを存分に発揮してくれるのではないかと大いに期待しています。

ところで、「努力は必ず報われる」という言葉がありますが、これについて私の考えを次のように式辞で述べました。

「皆さんには、今後出会うであろう逆境や立ちはだかる壁を乗り越え、目標達成に向けて力の限り邁進してほしいと願っていますが、現実には、夢や目標のすべてが叶えられるとは限りません。しかし、積み重ねた努力は形を変えて、きちんとした成果となって、必ず努力した人に返ってきます。『努力は必ず報われる』とは、ひたむきに重ねた努力は直接的な結果に結びつかない場合でも、違った形で必ず本人にもたらされ、長い人生を支え、生活を豊かにしてくれるということだと私は考えています。」

卒業生は、瓊浦で学んだことを支えに、今後頑張ってくれることを期待していますし、1、2年生についても、先輩方に負けない努力を重ねてほしいと願っています。その努力は結果に結びつくこともあります。しかし、その努力は人生の中で必ず生かされるものだと考えています。

※令和4年度卒業証書授与式については、3月号に記事・写真を掲載いたします。



けいほ展

2月14日火曜日から19日日曜日にかけて、長崎県美術館県民ギャラリーCにおいて「けいほ展」を開催しました。

会場には機械科の生徒が課題研究の授業で作った亀山焼をはじめ、情報ビジネス科の課題研究授業・美術授業で制作したハタの数々、その他美術選択の生徒たちや美術部、陶芸部などの作品が並びました。また、令和5年度から変わる制服の展示や学校生活のスライドショー、情報ビジネス科の商品開発活動や陸上部男子とエイサー和太鼓同好会の活動の様子を紹介するコーナーも設置し、多くの方に生徒たちの作品や学校の活動内容を見ていただきました。

立春を過ぎたとはいえたまだ寒さが残る中、721名もの皆様のご来場を賜り、あたたかいお言葉をいただきました。ありがとうございました。

令和4年度情報ビジネス科発表会

2月15日水曜日、全学年情報ビジネス科がこの1年の活動や取り組みについての発表会を実施しました。発表会の内容は以下の通りです。

- ①令和4年度検定取得状況
- ②3年生進路報告（進学／就職）
- ③外国語講座（韓国語／中国語）
- ④商品開発
- ⑤サイバーセキュリティボランティア
- ⑥2年生インターンシップ報告（2年泉翔太）
- ⑦総評（佐藤一司教頭先生）



「商品開発」について発表した3年生のチームは発表の最後に「悩みや大きな壁だと思うようなことは、努力によってのみ乗り越えることができるのではないでしょうか。問題意識や高い関心を持って物事に取り組む重要性を学んだ1年間となりました。」と感想を述べ、「1・2年生の皆さんも頑張って、様々な目標を叶えてください。」と後輩へエールを送りました。

上級生の発表を真剣な表情で聞いていた下級生にとっては来年度の取り組みについて考え、検定取得や進路実現に向けて意識を高める良い機会となったようです。

介護の仕事の魅力を知ろう！

2月20日月曜日、介護の魅力伝道師として活動をなさっている原田竜生先生を講師としてお迎えし、未来創造コースの1年生75名を対象に「福祉のしごと基礎講座」を行いました。生徒たちは、高齢者が原因で視力が衰えるとどんなふうに周りの景色が目に映るのか、聴力が衰えることで、話しかけられた言葉がどんなふうに聞こえるのかなどを実際に体験し「年をとる」ということについて考えを深めました。



原田先生は長崎県知的障害者バスケットボール協会での活動を通じて考えしたことなどを話され、会場の生徒たちに「介護とはどのような仕事だと思いますか。」と問い合わせました。そして高齢者施設での野菜づくりのエピソードを紹介した後、「介護とは、その方ができることを引き出す仕事、イキイキできる時間を作り出す仕事だと私は思っているんです。」と講演を結ばれました。職業観を養う貴重な機会となりました。

令和4年度 修学旅行～2年生バージョン～

2月6日月曜日、第2学年250名は修学旅行へと出発しました。10日金曜日までの4泊5日を、楽しく元気に過ごすことができました。

旅程表は以下の通りです。

- 2月 6日（月）長崎→長崎空港→羽田空港→【浅草地区研修】→ホテル
- 2月 7日（火）ホテル→上越国際スキー場にて【スキー研修】→ホテル
- 2月 8日（水）ホテル→【スキー研修】→ホテル
- 2月 9日（木）ホテル→【東京ディズニーランド】→ホテル
- 2月10日（金）ホテル→【お台場地区研修】→羽田空港→長崎空港→長崎

修学旅行後の感想を一部紹介します。楽しく充実した修学旅行だったようです。

- ・ワクワクして当日はとても早起きだった。
- ・長崎では体験できないことをたくさん体験できてよかったです。
- ・高校生活で一番楽しい思い出ができた。
- ・周りへの気配りや集団行動で時間を守る大切さや協力して働くことなど学ぶことが多かった。
- ・今まであまり話す機会がなかった人たちとたくさん話すことや笑うことなどができる。
- ・修学旅行中にたくさんの発見があった。
- ・JTBの方や先生方が私たちが困らないように動いてくださったおかげで安心して楽しく過ごすことができた。時間配分を考えて行動することを学んだ。
- ・スキーで何回も転んだけれど、二日目には上手に滑れるようになって、とても楽しかった。
- ・初めてのスノーボードで、雪景色の中、風を感じながら滑ったのがとても気持ちよかったです。
- ・ディズニーランドでの夢の時間はあっという間に過ぎていった。また行きたい。
- ・テレビでしか見たことのなかった風景を自分の目で見られたのがとても嬉しかった。
- ・またいつか東京に行ってみたい。



卒立つ日を前に

2月24日の卒業証書授与式を前に、3年生は登校日に「スーツ着こなしセミナー（講師：株式会社AOKI長崎浜の町店 店長 大口様）」や「年金セミナー（講師：長崎南年金事務所 副所長 松永様）」を受講し、成人として必要なマナーや知識について学びました。また、2月15日水曜日には各クラスの同窓会幹事2名が参加して、卒業記念植樹を行いました。



部活動戦績等

●男子ハンドボール部

令和4年度 九州高等学校ハンドボール選抜大会 準優勝
(3月に開催される全国選抜大会への出場権を獲得)

●エイサー和太鼓同好会

ランタンフェスティバルでエイサーを披露しました。
エイサー和太鼓同好会に在籍していた3年生（令和4年度卒業生）が最後の和太鼓演奏を行います。ぜひご観覧ください。
日時：3月4日（土）14時～
場所：出島表門橋公園



3月の主な行事

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 3月 1日（水）振替休日（2／23分） | 15日（水）写真撮影（1・2年生） |
| 2日（木）学年末考査（3日まで） | 16日（木）美術館見学 |
| 7日（火）進路ガイダンス（1年生） | 4時間目から 機1AB・情1A |
| 10日（金）強歩大会 | 5時間目から 普2BCD |
| 14日（火）教科書販売 | 17日（金）終業式 |
| 第5回進路模試（2年生） | 19日（日）危険物取扱者試験 |
| 写真撮影（1・2年生） | 21日（火）春分の日 |